

第2回 官庁営繕事業の監督・検査におけるデジタル技術に関する検討会 議事概要

日 時：令和5年10月4日（水）10:00～11:30

場 所：中央合同庁舎第2号館 13階

国土交通省大臣官庁官庁営繕部会議室・入札室

（WEB会議システム併用）

開会

検討会規約確認

議事

1. 令和5年度検討事項について
2. 令和4年度技術（配筋検査、ガス圧接継手外観検査）の試行（中間報告）
 - （1）配筋検査技術
 - （2）ガス圧接継手外観検査技術
3. 令和5年度詳細検討技術の調査について
4. 今後の進め方

閉会

委員出席者：蟹澤宏剛委員（座長）、浦江真人委員、中原健太郎委員、国本勇委員、
中村裕介委員、松尾徹委員、高橋光明委員

行政側出席者：国土交通省 大臣官庁官庁営繕部整備課建築技術調整室（事務局）

<議事概要>

●委員、△事務局

開会、検討会規約確認

- ・事務局から資料により説明

議事1. 令和5年度検討事項について

- ・事務局から資料により説明。

△令和5年度では、令和4年度検討技術（配筋検査、ガス圧接継手外観検査）の試行及び
令和5年度詳細検討技術（コンクリートスランプA I判定、杭施工管理）の調査を進める。

△本検討会では、令和4年度検討技術の試行結果及び令和5年度詳細検討技術の調査の進め方
について説明する。

●（一同異論無し）

議事2. （1）配筋検査技術

- ・事務局から資料により説明

△配筋検査技術の試行結果を報告。試行では、鉄筋の配筋間隔、鉄筋径及びかぶり厚について、
画像計測とスケール等を使用した計測を比較。

△建築では比較的鉄筋間隔が狭く、下端筋などの撮影が困難な部分や、接合部などの鉄筋が
密な部分の計測が課題。

●2段配筋では、上端筋と下端筋を別に撮影するなど、撮影のタイミングを工夫して対応する
ことが考えられる。

△画像計測の計測箇所・回数等にばらつきがあったため、今後の試行では、各項目で30～50程度を
目安として計測を行う。

議事 2. (2) ガス圧接継手外観検査技術

- ・事務局から資料により説明

△ガス圧接継手外観検査技術の試行結果を報告。試行では、圧接部のふくらみ直径、ふくらみ長さ、偏心量、折れ曲がり及び片ふくらみについて、画像計測とスケール等を使用した計測を比較。

△画像計測では、圧接部分の両端が、せん断補強筋で隠れている等、鉄筋の径を撮影できないと正しく認識されない場合があるため、撮影のタイミングを工夫することが必要。

- (一同異論無し)

議事 3. 令和 5 年度詳細検討技術の調査について

- ・事務局から資料により説明。

△令和 5 年度では、コンクリートスランプ A I 判定技術及び杭施工管理技術について、調査を行う。

△各メーカーの技術概要を把握のうえ、ヒアリングの結果を整理して詳細検討し、2 技術の試行要領をとりまとめる。

- (一同異論無し)

議事 4. 今後の進め方

- ・事務局から資料により説明。

△今回の試行結果及び本検討会のご意見を踏まえ、今後の試行を進めていく。

△DX、生産性向上につながるよう、新技術の活用について検討を進めていく。

- (一同異論無し)

閉会

以上